

はせがわのびん戸通信

平成二十七年
第七十四号

まちと現場を明るく照らす
発行: (株)長谷川製作所
TEL 049-233-1021
www.ehasegawa.co.jp

社内講習会



昨年より外部の先生を招いて「プラスチック」をテーマに社内勉強会を実施しています。

ナフサとは何か？原油とは何か？という川上まで遡ることによって、当社が樹脂成形を生業としていながら、いかに自分達の知識が浅かったかを毎回実感しています。



参加者は製造部、技術課全員です。化学は習った記憶がない者から大学で化学を専攻していた者までレベルは様々ですが、学んでいなかったからこそ出てくる素朴な疑問「それはなぜ？」がとても重要だったりします。

基礎の基礎から学んでいる為、生きた知識になるまでに時間がかかりそうですが、物事の本質を学ぶということは何歳になっても楽しいものです。

一過性の活動ではなく、継続して行うことがとても大切です。学ぶ習慣を身に付け、現在よりも高いレベルでの提案活動、設計活動を行い、お客様の満足度向上につなげていきます。



担当 長谷川雄大

「ひな祭り」の記憶

今年も、ひな飾りを用意する時期になりました。



毎年、煌びやかな雛人形を手に取りはしやぎ遊ぶ娘と、お内裏様の太刀を抜いて遊ぶ息子。それを注意する妻に、必死に作業を行う私。なんだか懐かしい、平和な風景です。

昔、平安貴族の幼女達には「ひいな」という遊び道具の人形があり、この「ひいな」を用いておままごとする事を「雛遊び」と呼んだそうです。「ひな」の古語が「ひいな」で、元々「ひな」は、「大きなものを小さくする、小さくしてかわいらしいもの」という意味だそうです。

きっと平安貴族の親達も、娘の遊んでいる様を見て喜びを感じ健康を願っていた事でしょう。時代は変われど今も昔も変わらない親の気持ちですね。



担当 發知

「節分」歳を重ねて



二月三日の節分に、三歳の娘が初豆まきをしました。何も教えていないのに何か物を投げると言う行為は人間の本能なのでしょう。豆を渡しただけで勢い良くばらまきます。

「鬼は外、福は内」

子供達の大活躍で家中の鬼が払われ福を呼び込みましたが、同時に大変な後片付けも呼び込んだようです。

最後に家中に巻いた豆を集め、家族の健康と幸福を願って年の数だけ食べました。息子は六粒、娘は三粒と物足りない様子でしたが、私は三十六粒、食べるのが大変です。子供達の成長は楽しみです。増える豆の数に怯えるのは私だけでしょうか？

担当 杉山(剛)

卒業を迎えて



小学校生活を一つの区切りとして考えていた私にとって、息子の卒業は格別の想いがあります。小学校二年生から始めたバスケットも、六年生で区切りを迎え、卒団となります。

側から見ている分には変わらない様に見える息子ですが、物事に取り組む姿勢は以前と比べて全く違い、自らチャレンジする楽しさを学んだようです。皆で協力してやり遂げる素晴らしさを知り、さらなる希望を持って、飛び立とうとしています。

四月からは新たなスタートライン。しっかり前を見て進んで行ってほしいです。

担当 杉山(比)

お知らせ掲示板

JECA FAIR 2015(5/27~5/29 東京ビックサイト)への出展が決まりました。LED 作業灯を中心に展示予定です。足をお運びの際は、是非弊社ブースにもお立ち寄り下さい。

** JECA FAIR 2015 HPアドレス **
<http://jecafair.jp/>

第75号は、3月20日発行です。

はせがわ・すぴりっと
今年度のNo.1
私が絆ぐ会社の未来